千福ニュータウン団地施設管理組合　第９回理事会（定例）議事録　概要

開催日：2023 年１月２１日（土）　15：00～17：00
場所：汚水処理施設　管理棟
出席者（敬称略）：理事：青木　酒井　　山内　中嶋　小泉(記)
　　監事：藤永　森田
欠席者（敬称略）：なし

Ⅰ　議題　　以下の議題について、報告・検討がなされた。

１．定例議題
1-1.　理事長
1-2.　施設
1-3.　会計
1-4.　広報
1-5.　生活サポート

Ⅱ　議事　　定例議題
1-1. 理事長
市長の区長宛て回答　裾市生第 65 号
(1)理解
1)市長からの回答；
・汚水処理施設更新に関わる対応策は、今後、下水道整備と併せて検討を進める。
・区民の要望に対し考えられる課題の洗い出しや整理をし、今後話し合いの場を設けていく。
・区が要望している汚水処理施設を市へ移管するならば、利用者が応分の使用料を継続負担。負担額の増加も考えられる。
(2)これから；(公開予定の昨年 12 月 8 日の市議会会議議事録も参照)
1)課題の洗い出しや整理、まとめの完了予定時期は未定。
2)躯体・建屋の寿命がきた時に施設を新築する事を考慮されていないので はないか。広域下水道に接続するとか他の選択肢も考えられるはず。
3)各々にコスト･技術両面でメリット･デメリットがあると思う。各々の選択肢を比較し、市の財政と千福が丘の利用者に一番良い形態を選ぶ事になると思う。
(3)管理組合
・管理組合しか提供できない情報があるのでそれらを適宜市に提供していく。

12 月理事会議事録
一部の表現が間違っているのでお詫びして訂正したい。
・役員の公募は総会の時。
（正）公募は 10/1-12/20。総会で承認。
・締め切り 20 日までに応募された方は 15 名。
（正）本日（12/17 日）までに応募された方は 15 名。
運営コスト管理

運転費の最大要素は電気代。その上昇が大きな課題。本年度の支払いは計画を 330 万円超過し 1,000 万円程度になる予想。2020 年度の実績は総収入に対し 11%、今期の電気代は総収入の 17%を占めるまでに上昇する。
既に調査と対策を開始しているが薬剤のコスト等も上昇しているので、単価の変化も含めて注視していく。

決算の変化

既にある程度の数字はまとまっているが、集計項目を決めて過去 10 年(?)
～将来 20 年の変化はいつ頃まとまるか。収入、大修理、運転(電気・薬品等)
委託、その他、支出、繰越・・・。

総会議案書タイミング（案）

配付 4/27(木)-28(金)、5/10(水)-11(木)フォロー、5/16(火)締め切り・集計

1-2. 施設　（山内理事）

降雨時侵入水の宅内調査報告　詳細は別紙不明水状況・保全工事に記載済

・個別調査は第 2 ポンプ場エリア 117 件で、組合員宅の雨樋から水を流す為　敷地内に立ち入り作業を実施致したが、組合員の理解を得るのが一番大変であった。
調査は 8 月～12 月の間　西島工業が実施し、結果は下水に流入した事例は無かった。

・御殿場市の例だが、一部の地域で市が個別浄化槽を設置し市役所が使用料の収集を行っている。

2023 年度　施設工事点検計画(費用)について

・諸物価の高騰に拠り、電気代と薬品代は本年度の 4/3 と上乗せしている。

・添付写真の沈砂槽手摺取付は、作業員が落下したら生死に拘る場所への安全対策工事につき、優先度 A である。

・脱水機周りのチェッカープレートは腐食が甚だしいため修繕改修工事が必要。

・関東保安協会より受電装置の更新の見積書が提出されているが、予算の関係で来年度以降とする。三友水処理㈱とは協議済

・第二沈殿槽スカム除去装置及び越流トラフ修繕改修工事は大物である。¥10,200,000 本工事に関し本日の理事会で業者に内示することを決議を願いたい。理由は各方面から値上げが進行中で、金額が大きいので、値上がり前に内示する為。

理事会　⇒　合意

1-3. 会計　（中嶋理事）

・月次会計チェックを 1 月 16 日に実施致しました。添付会計業務報告を参照願います。

・収入累計は¥42,680,800 でほぼ前年並みにと言えます。

・支出は電気代、汚水処理薬品代が高騰してます。

電気代　前年同月実績¥578,792 円より 392,107 円高い。**薬品代**　前年同月実績累計¥692,636 より本年度累計は¥815,441 円高い

・支出に関しては 9 ヶ月経過時点では 77%の実績であり、それほど悪くない様に見えるが個別に見てみると、処理施設運用費 105%、管理業務委託費が 79%と高い。特に処理施設運用費の中の汚水電気使用料は、2021 年度の 4 月から 12 月迄の実績累計¥4,834,268 円と¥2,435,647 円高い。このまま毎月、前年度より 39 万円以上高いと、

年度末には 360 万円以上オーバーし、累計は 1000 万を超える見込み。

・汚水処理薬品消耗品は、２０２１年度の４月から 12 月のでの実績累計¥692,636 円と比べて２０２２年度¥1,518,077 と¥815,441 円高い。前年比で 219%であり、使用量が増えたのか価格が高くなったのかストックが無くなったのか、要確認。

・管理業務委託費は、三友水処理㈱と生活サポートで、毎月 99+88=187 万円で 12 ヶ月で２２４４万円になるが、予算は２１３６万円で、月当たり１７８万円である。
予算作成時に 187 万円を 178 万円と打ち間違えた可能性があり、108 万円オーバーする見込み。

1-4. 広報　（酒井理事）

来月号「くみあい通信 Vol 87」の紹介

・トピックス記事　総会準備　　5 月 14 日⇒5 月 21 日に訂正。

・不明水調査結果・今後の対応概要は山内理事にお願いします。

・生活サポート　事務所レイアウト変更報告

1-5. 生活サポート（小泉理事）

1　１月度管理組合回覧の件

１月 18 日に各種原稿提出され印刷に着手しました。

混乱を避けるために、連絡員への配布は従来通り担当役員にお願いします。

尚　今回は、**非居住者組合員向け「くみあい通信 Vol 86」146 通を郵送**致します。又、先月号くみあい通信 Vol 85 も同封します。

回覧用	73
郵送用	146
計	219

2　12 月度在宅勤務報告書　添付ファイルを参照願います。

3　事務所移転後最初に向かえる正月用お飾りを管理棟入り口に取付ました。
来期より組合にて予算化願います。

4　コロナ感染者が発生した為、コロナ検査キットを 6 個手配致しました。

次回　２月１８日（土）１５：００～１７：００　　汚水処理施設

以上

青木理事長　　酒井副理事長　　山内理事　　署名・押印省略